

正しいヒートモールドの方法(18.10.02改訂)

- オープンで温めてフィットさせるヒートモールドを行うときには、以下のことに注意してください。
- 必ず、ブーツにエッジホルダーとスケートランナーを取り付けてからヒートモールドを行ってください。

(ヒートモールドの手順)

- スケートオープンの温度は摂氏80度、時間は10分間です。
- 温め終わったスケートに、いつもの靴下を履いて靴べらでそっと足を入れてください。特別なインソールがある場合は、忘れずに入れてください。
- 足を入れたら、靴のベロを正しい位置まで引っ張ってください。
- カカトを優しくトントンと床面に打ち付け、カカトをしっかりと入れてください。
- 靴紐のリベットの固定が柔らかくなっています。紐はきつく縛らずいつもの8割くらい、優しくしっかり締めてください。
- 靴紐を締め終わったら、脚を平らな床面に置いてヒザがカカトより前に来るくらい、深めに足を曲げて座ってください。
- 温度を冷ましている間、スケートブーツの様々な部分を手で押さえ足と馴染むようにします。特にクルブシとカカトを重点的に。
- 15分間冷まして、足を抜きます。
- 完全にブーツが冷めるまで、だいたい1日間は使用をお控えください。